

第12回

あやめ会公開講座

川崎市の協力により地域のみなさまと学ぶ会が12年目を迎えました。

● 精神疾患がどうして発症するのかという理由はまだまだわからないことが多いのですが、おおまかな理論としてストレス脆弱性モデルというものが考えられています。外的な要因としてのストレスと、内的な要因としての脆弱性が相まって精神疾患が発症するという考え方は、現在社会ではストレスの影響が大きいと思われるうつ病圏の病気が増えています。統合失調症が増えているというデータはありませんが、患者さんの数は多い病気です。治療は薬が大事ですが、それだけではありません。最近は認知行動療法がさまざまな病気に応用されています。トータルケアについて考えたいと思います。

テーマ:

「ストレス社会における精神疾患の治療と
ケアについて考える」

日時 平成29年 9月11日 (月)
午後2時～4時 (1時30分より受付)

場所 エポックなかはら7階 (JR武蔵中原駅 徒歩1分)

参加費 無料

講師 帝京大学医学部付属溝口病院
精神科 科長・教授

張 賢徳 氏



・講師プロフィール

張賢徳 (ちょう よしのり)

1991年東京大学医学部卒業後、帝京大学医学部精神神経科学教室に入局。

1997年ケンブリッジ大学精神医学博士号取得。

帝京大学市原病院精神科講師を経て1999年に同大学溝口病院精神科科長となり2008年から同科長・教授。

専門は臨床精神医学と自殺学で社会心理学や宗教学にも関心を寄せている。

主著は「人はなぜ自殺するのか」(勉誠出版)、「うつ病新時代—その理解とトータルケアのために」(平凡社新書)、「自殺予防の基本戦略」(共著、中山書店)、「うつ病診療の論理と倫理」(共著、学樹書院)、「精神科面接マニュアル」(訳書、メディカルサイエンスインターナショナル)。

主催：特定非営利活動法人川崎市精神保健福祉家族会連合会あやめ会

〒213-0011 川崎市高津区久本 3-6-22 TEL/FAX 044-813-4555

E-Mail ayame@iris.ocn.ne.jp URL <http://ayamekai.org>